



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2011年11月号（485号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・社会司教委員会	3
・典礼委員会	3
・学校教育委員会	5
・エキュメニズム部門	5
・難民移住移動者委員会	7
・カリタスジャパン	8
・正義と平和協議会	11
・部落差別人権委員会	13
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	14
・中央協議会事務局（総務）	15

常任司教委員会

■9月定例常任司教委員会

日 時 2011年9月1日（木）10：00－15：00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 委 員 7人
事務局 7人

報 告

1. 駐日教皇大使任命について

教皇ベネディクト十六世は、8月15日に新しい駐日教皇大使として、駐タンザニア教皇大使のジョゼフ・シェノットゥ師を任命した。

2. 2011年WYDマドリッド大会について

2011年8月16日-21日までWYDマドリッド大会が開催され、日本から337人が参加した。日本からは、5人の司教も同行し、常任司教委員の高見三明大司教、大塚喜直司教から参加報告が行われた。正式報告は、2月の臨時司教総会において、青少年司牧部門から行われる予定。

3. 教皇庁・列聖省訪問について

2011年7月12日-13日に、列聖列福特別委員会の大塚喜直委員長が教皇庁・列聖省を訪れ、長官のアンジェロ・アマート枢機卿に面会し、高山右近の列福事由変更について説明を行ったことが報告された。

4. 日本聖書協会・新聖書翻訳事業検討会議について

8月24日から26日に開催された日本聖書協会・新聖書翻訳事業検討会議に参加した岩本潤一から報告が行われた。

5. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災関連の募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。8月25日現在の募金状況は、556百万円となった。

6. 中央協議会の口座に入金された義援金について

8月31日現在、中央協議会の口座に入金された東日本大震災関連の義援金とその使途に関する報告が行われた。義援金総額は65,661,866円、支出金額は12,452,683円、残金は53,209,183円となっている。

7. 日本カトリック会館節電対応について

5月末より日本カトリック会館としての節電対応を行い、7月の節電効果の総合計は276,136円となった。

8. 2012年度予算策定日程について

2012年度の予算作成スケジュールが報告された。「事業計画の概要」提出締め切りは10月20日、「予算原案」提出締め切りは12月15日となる。

審 議

1. 10月開催の特別臨時司教総会準備について

10月に開催される特別臨時司教総会の内容とプログラム案を承認した。同総会では、主に、第13回世界代表司教会議(シノドス)の提題解説に対する日本の教会としての返答について検討を行う。加えて、日本司教協議会としての原発に関する見解について検討する時間も設ける。

2. 教皇庁・法文評議会からの依頼事項について

教皇庁・法文評議会からの要望である、新教会法典第6集「教会における制裁」の改訂案に対する意見提出については、フランシスコ会の浜田 了師に改訂部分のラテン語からの邦訳作業を依頼し、教会行政法制委員会での検討と同時に全司教からも意見収集を行い、日本司教協議会としての意見案を作成できるように準備を行う。

3. 中央協議会に入金された東日本大震災関連の義援金の使途基準について

中央協議会に入金された東日本大震災関連の義援金は、主に各管区の支援活動に支出することが決められた。なお、その使途基準については、次回常任司教委員会までに案を作成する。

4. 中央協議会発行出版物の企画承認について

出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと、出版企画書を承認した。

①朗読福音書

編 者 日本カトリック典礼委員会

②高山右近の霊性と現代(仮題)

編 者 列聖列福特別委員会

5. 他団体の顧問、理事等に関する前田万葉前事務局長の後任選出について

2011年7月末日で中央協議会事務局長を退任した前田万葉師が職務上委任されていた、ロゴス点字図書館の理事とカリス顧問の後任人事について検討し、カトリック中央協議会 宮下良平事務局長のロゴス点字図書館の理事およびカリス顧問の就任を承認した。

社会司教委員会

■司教秘書合同会議

日 時 2011年9月15日(木) 14:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 14人

審議

1. 原発問題に関する司教団メッセージについて

「福島第一原発事故という悲劇的な災害を前にして」と題したメッセージ案をもとに意見を出し合った。出された意見を考慮して修正を行い、社会司教委員会の合意のもと常任司教委員会に提出する。

2. 「聖職者による未成年者への性虐待に対応するためのガイドライン」について

『聖職者による未成年者への性虐待に対応するための司教協議会のガイドライン作成に向けて』と題する教皇庁教理省からの司教協議会宛の書簡(2011年5月3日)について6月常任司教委員会で検討した結果、2003年2月司教総会で承認された「教会が子どもを守るために『聖職者による児童性的虐待への対応』司教のためのガイドライン」が対応する内容かどうか、子どもと女性の権利擁護のためのデスクが検討し、一部修正を行うことになった。

書簡には「信者の共通善を保障し、とりわけ児童と若者を守るという教区司教の重要な責任の一環として、司教はその教区聖職者による未成年者への性虐待事件に適切に対応しなければならない。その対応には、虐待被害者を支援するのに適した手順を整えること、未成年者の保護に関して教会共同体に指導することが含まれる。また、適切な教会法を履行するための規定を設けること、国家法の必要に備えることも含まれる」と記されている。

これを受けて社会司教委員会は、同ガイドライン作成に向けて、12月の司教のための社会問題研修会を開催することを決定した。

3. 「司教のための社会問題研修会」について

目 的 日本における未成年者への性虐待の実状を学び、「聖職者による未成年者への性虐待問題に対応するためのガイドライン」作成に向け、対応を考える。

日 時 2011年12月15日(木) 14時から16日(金) 12時まで

対 象 司教および教区担当者

講 師 中島幸子さん(NPO法人レジリエンス代表/DVコンサルタント)

坪井節子さん(社会福祉法人カリヨン子どもセンター代表/弁護士)

典礼委員会

■定例会議

日 時 2011年9月5日(月) 9:00-11:00
場 所 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院(長野・北佐久郡)
出席者 9人

欠席者 2人

報 告

「朗読福音書」について

9月1日の常任司教委員会にて、「朗読福音書」の出版が決議された。「朗読福音書」出版のための教皇庁の認可申請については、10月の特別臨時司教総会に諮る。

審 議

1. 2011年度全国典礼担当者会議のプログラムについて

本会合に引き続いて行う全国典礼担当者会議のプログラムを確認した。

2. 典礼におけるフランシスコ会聖書研究所訳「聖書（合本）」について

1987年の臨時司教総会での決議に基づき、典礼において使用する聖書は引き続き『聖書 新共同訳』であることを確認した。

3. 『教会暦と聖書朗読』について

出版部からの要請、問い合わせを受けて掲記内容、本委員会による監修について審議した。審議結果は、出版部に報告する。

次回定例会議 2011年11月14日（月） 10:00-15:30 日本カトリック会館

■2011年度全国典礼担当者会議

日 時 2011年9月5日（月）14:00-7日（水）12:00

場 所 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院（長野・北佐久郡）

出席者 24人

欠席者 5人

内 容

小教区や修道院などの教会堂（聖堂）を建築・改築する際に、典礼を行う空間として留意すべきことについて、歴史と実践、原則を当委員会委員の講話形式によるプレゼンテーションで振り返りながら、神学的・典礼的に理解を深めた。

1日目 本委員会の活動報告を行った後、横浜教区からは教区典礼委員会が教会堂建築にかかわった際の事例、長崎教区からは複数の教会堂の外観と内部について事例報告が行われた。その後参加者の間で、事例を基にした意見交換を行った。

2日目 I 「典礼祭儀の空間」（南雲委員）…典礼の空間では、たんに聖堂内の構造や祭儀に必要なものの配置だけでなく、司祭や奉仕者、そして会衆の典礼上の作法や動作も重要な要素である。また、典礼祭儀は旅する教会の祭儀でありつつ、同時に天上の教会の宴の写しであり、時間的・空間的・宇宙的広がりをもってキリストにおいて結ばれていることを覚える必要性が指摘された。

II 「典礼の場の歴史」（石井委員）…第2バチカン公会議によって祭壇が司祭と会衆で囲む形になったという大きな変更を出発点に、初代教会における祭壇の形を振り返り、その後の変遷で祭壇に加えられた要素を確認した。また刷新によって再び初代教会の祭壇に立ち帰るきっかけとなったマリア・ラーハ修道院（ドイツ）などが紹介された。朗読台や洗礼を授ける場についての変遷も紹介された。

III 「典礼の空間に関する諸規則」（宮越秘書）…「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づいて、一般的な原則、内陣の配置、教会堂内の配置などについて確認した。

プレゼンテーションに続き、各教区から、教会堂の建築や改築に関する現状と問題点などが報告された。

- 3 日目 典礼は神のことばの座であると指摘されている教皇ベネディクト十六世使徒的勧告“Verbum Domini”について内容を紹介した。第1部「神のことば」を和田委員、第2部「教会における神のことば」をフランコ委員、第3部「世界のためのことば」を市瀬委員がそれぞれ解説した。その後意見交換を行い、全日程を終了した。

■「公式祈願」研究小委員会

日 時 2011年9月26日(月) 14:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 会議室5
出席者 3人

「種々の機会のミサ」の公式祈願の見直しを行った。

学校教育委員会

■第128回 学校教育委員会

日 時 2011年9月1日(木) 15:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 会議室4
出席者 8人

報 告

品田委員より、「日本カトリック学校連合会の動き」について

審 議

1. 「第25回 校長・理事長・総長管区長の集い(集い)」について
 - ①1日目の『キリスト教理解のために』の著者二人への講演依頼報告(品田委員)
並木豊勝師(サレジオ修道会)と岩島忠彦師(イエズス会)に講演を依頼し、承諾を得た。
 - ②2日目の「教会とカトリック学校のかかわりについて」の話し合いの材料とするたたき台(例えば、寄附行為の文案など)の提示に関して、その方法と作業部会等スケジュールを検討した。
 - ・1日目は、2人の著者による講演(質疑応答も含む)。2日目午前の前半部分は、冊子の使い方について、後半部分と午後からは、カトリック学校としての組織的な側面を取り扱う。また、この内容については、次回、継続審議する。
 - ・テーマと2日間の詳しいスケジュールについても、次回審議する。
2. 宮下良平委員辞任について
 - ・宮下良平委員の辞意を委員会として了承した。
 - ・後任の委員については、来年5月の幼稚園連盟の役員交代を待って検討する。

次回会議 2011年10月28日(金) 15:00-17:00 日本カトリック会館

エキュメニズム部門

■3.11 東日本大震災を心にとめ、死者への追悼・被災者への慰め・被災地の再生を求める礼拝

日 時 2011年9月11日(日) 14:46-16:00
場 所 日本基督教団下谷教会(東京・台東区)
主 催 カトリック中央協議会・日本キリスト教協議会(NCC)
協 賛 日本福音同盟東日本大震災対策室

報 告

本礼拝は「大震災から半年を経て、新たにこの出来事を心にとめ、共にすべての人々と結び合いながら、犠牲者を追悼し、被災者の慰めと再生のために祈る」ために行われた。

礼拝は、興石 勇 NCC 議長と岡田武夫大司教が共同司式した。礼拝の中で次の3氏が報告を行った。

(1) カリタスジャパン事務長・田所 功「カトリック教会の救援活動」

(2) 日本基督教団上尾合同教会・秋山 徹牧師

(3) 日本基督教団キリスト教友愛会 震災担当幹事補佐・野田 沢牧師「御言葉に導かれる被災者支援」

礼拝には約180人(プロテスタント教会約100人、カトリック教会約80人)が参加した。参加団体は、プロテスタント約40教会、カトリック約20教会、他団体約10団体。礼拝中に集められた献金155,780円は、興石議長を通して仙台キリスト教連合被災者ネットワーク(東北ヘルプ <http://tohokuhelp.com>)に送金された。

■第64回ルーテル／ローマ・カトリック共同委員会

日 時 2011年9月29日(木) 18:00-20:00
場 所 上智大学神学部研究室(東京・千代田区)
出席者 カトリック 9人 ルーテル 5人
欠席者 カトリック 2人 ルーテル 1人

1. ルーテルーカトリック教会間対話を踏まえた新しい出版物刊行企画について話し合った。4委員から成る共同出版企画小委員会からの提案を受けて、出版の方向性を検討した。今後、小委員会に委員を2名加えて検討を継続する。
2. 両教会の動向についての情報交換
 - (1) 9月22日(木)から25日(日)まで教皇ベネディクト十六世の3回目のドイツ訪問が行われた。教皇は23日(金)、エアフルトの旧アウグスチノ会修道院(ルターが神学を学び、司祭叙階された地)を訪問し、同地でドイツ福音教会評議会会員との会合、エキュメニカル礼拝を行った。
 - (2) カトリック・ルーテル国際対話委員会が2011年7月8日から15日までフィンランド・ヘルシンキで開催された。今回の会議で2017年の宗教改革500周年記念文書の内容の合意に達した。文書の内容は①ルーテル教会の宗教改革の史的概観 ②マルティン・ルターの神学の概観 ③トリエント公会議と第二バチカン公会議におけるカトリック教会の対応と改革 ④ルーテルローマ・カトリック教会間対話の中心的な成果の要約。文書タイトルは『葛藤から交わりへ』(From Conflict to Communion)。発表時期は未定。2013年は日本での開催を予定している。
教皇庁キリスト教一致推進評議会とルーテル世界連盟はそれぞれの国でルーテル教会、カトリック教会、プロテスタント諸教会が合同で2017年を記念することを今後、呼びかける。そのためにさまざまなレベルで活用できる研究資料も出していく予定。日本福音ルーテル教会は次回の常議員会で2017年記念行事の準備委員会を発足させる。
 - (3) 日本キリスト教連合会長を務める渡邊純幸・日本福音ルーテル教会議長が前田万葉・広島司教の叙階式(9月23日)に出席した。

難民移住移動者委員会

■FRJ(なんみんフォーラム) 2011年度 第2回会議

日時 2011年8月30日(火) 14:00-17:00

場所 JELAハウス(東京・渋谷区)

出席者 カトリックから1人

報告

1. 新会員、無国籍ネットワークの紹介
2. 正会員入会方法の確認と事務局について
3. 平和茶会について

審議

1. 収容代替措置勉強会とワークショップについて
10月13日-15日に行われる収容代替措置勉強会とワークショップのプログラム・内容について審議した。
2. 国連閣僚会議でのプレッジ(国家誓約)への対応
ワーキンググループ3を中心に進め、10月15日のワークショップで賛同団体を募る予定。
3. 難民連携委員会(RCCJ)の支援について

■ブラジル人司牧・協力者の集い

日時 2011年9月13日(火)-15日(木)

場所 日本カトリック会館 マレラホール

参加者 20人

出席者 2人

日本全国から、主に日系ブラジル人の司牧に携わっている司祭、修道女、信徒20人が集まり、司牧の現状や今後の課題について協議した。

1日目には、今までの歩みを振り返り、それぞれの地域の活動内容や、直面している問題について分かち合った。2日目には、今必要とされているリーダー養成をテーマに話しあった。小グループに分かれて、リーダーに必要とされる資質とそのために必要な養成について話しあった。全体会では各グループから出された養成計画を小教区、教区、全国レベルに振り分け、来年度の計画を作成した。3日目は司牧ガイドラインを見直し、その後東日本大震災後の支援について分かちあい、派遣のミサで終了した。

■仙台教区における滞日外国人の司牧の基本方針を確認する会議

日時 2011年9月16日(金) 10:00-12:30

場所 仙台教区本部事務局会議室(宮城・仙台市)

参加者 15人

出席者 2人

報 告

各地域における外国人司牧の現状について

審 議

1. 仙台教区滞日外国人司牧の基本的な考え方について
2. 東日本大震災仙台教区復興支援における協力活動について

カリタスジャパン

■第3回カリタスジャパン事務局会議

日 時 2011年9月1日(木) 15:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 8人

報 告

1. 6月、7月度収支報告

6月、7月度の収支を確認。

2. 募金状況報告

カリタスジャパンニュースに掲載する募金状況の報告については、仙台教区サポートセンター関連支出の活動内容を詳しく表記し、国内緊急援助の対応状況を活動趣旨別に掲載する。

3. 東日本大震災への対応報告

釜石ベース 社会福祉協議会(社協)とのタイアップがよくできており、傾聴活動のスタイルも確立されている。

石巻ベース 社協によるNGO枠がはずれて活動しやすくなった。組織的に見直しが必要。

ALL JAPAN 10月から森田直樹師(京都教区)が1カ月ほど仙台サポートセンターで活動。長崎教会管区は、釜石ベースで3日間主なスタッフとしてボランティアの後、大槌で活動。

元寺小路教会 傾聴活動を本日から開始。

シスターズリレー 9月15日に一旦終了するが、その後については修道会宣教会事務室と相談する。

ボランティア 活動期間の長い人、リピーターを大切にしたい。特にシニアボランティアに声をかけてみたい。

9月5日-8日 カリタスアメリカの職員が、緊急援助に関する書類作成補助のために来日する。

9月7日-11日 国際カリタスメンバーによる視察が行われる。韓国、チェコ、ドイツ、アメリカから5人が参加し、国際カリタスのメディア担当者1人が取材に入る。

審 議

1. 事務局負担金算出方法について

2011年度事務局分担金算出方法の素案を事務局で作成し、カリタスジャパン委員会で審議する。

2. 全国教区担当者会議(11月15日-16日)の準備について

・日程の提案として

11月14日(月) 仙台市内に集合し、前泊

11月15日(火) 塩釜、石巻などの現地視察および学習

11月16日(水) 会議(サポートセンターの動きなど)

・議題として必要なこと

今後の教区での対応について話し合う。そのために仙台教区担当者から話を聞く。
以上のように、教区担当者実行委員会に確認し、カリタスジャパン委員会に提案する。

3. 震災1周年活動報告書作成について
 - ・B5判 32ページ、フルカラー。日本語版、英語版で作成する。
 - ・報告書作成の目的は、募金者への報告。活動報告と援助先紹介などを記載する。
 - ・写真を中心に構成し、その様子を説明する程度の文章を添付する。
4. 2012年四旬節小冊子編集について
 - ・入稿 11月17日の予定
 - ・原稿準備 責任司教1本、援助部会3本、啓発部会2本
 - ・11月4日（金）のカリタスジャパン委員会にて、原稿内容を精査。
5. カリタスジャパン委員会（9月14日）議題の事前検討
 - ・カリタスジャパンスタッフの仙台教区サポートセンターへの派遣延長（2012年3月まで）について
 - ・EA（緊急援助）の内容について
 - ・次年度業務計画について

次回日程 2011年10月6日（木）15:00-17:00（必要に応じて）

■第3回カリタスジャパン啓発部会会議

日 時 2011年9月10日（土）16:30-18:30
場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）
出席者 12人
陪席者 1人

審 議

1. 第2回啓発部会の議事録を承認。
2. 2012年四旬節小冊子について
啓発部会が担当する原稿2本のテーマは次のとおりとする。
 - ・「自死と孤立」の取り組み
 - ・福島県における現状
3. 小冊子（意見集）のまとめ方について
詳細は次回審議へ持ち越しとする。何をどういう基準で掲載していくのか、意見を事前にまとめておく。
4. その他

今後の、自死に関する勉強会の予定

- | | | |
|-----------------------|----|----------------------|
| ・11月5日（土）静岡教会（横浜教区） | 主催 | 横浜教区 静岡静清地区共同宣教司牧委員会 |
| ・11月6日（日）平塚教会（横浜教区） | 主催 | 横浜教区 第6地区共同宣教司牧委員会 |
| ・11月20日（日）下井草教会（東京教区） | 主催 | 東京教区 豊玉南宣教協力体 |

次回日程

2011年度第4回啓発部会
2011年10月31日（月）11:00-15:00 日本カトリック会館 会議室2

2011年度第5回啓発部会
2012年1月10日（火）13:00-16:00 日本カトリック会館 会議室3

2011年度第6回啓発部会
2012年3月14日（水）13:00-16:00 日本カトリック会館 会議室3

■第3回 カリタスジャパン委員会

日 時 2011年9月14日(水) 11:00-15:40

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 12人

報 告

1. 新委員紹介 ドーボン・マルゲリーテ修道女(カノッサ修道女会)
2. 啓発部会
前項参照
3. 援助部会
 - (1) 東日本大震災対応
仙台教区サポートセンター(SDSC)の活動期間が延長され、2013年3月31日までとなった(9月11日付、仙台教区司教文書)。これに伴い、シスターズリレーも10月以降継続の予定。
 - (2) 海外カリタスによる震災対応視察(9月7日-11日)
ドイツ、チェコ、韓国、アメリカ、および国際カリタス広報担当が参加。石巻、気仙沼、釜石のボランティアベースやプロジェクトを視察し、仙台で震災6カ月目のミサに参列した。
 - (3) 次期(2011年10月-2012年3月)東日本大震災国際カリタス緊急支援要請(EA)を策定。
 - (4) 海外新規案件の対応状況報告
4. 4月-7月度収支報告および募金報告

審 議

1. 東日本大震災6カ月の振り返りとカリタスジャパンの体制の見直しについて
 - (1) 振り返り
 - ・現在までに約2,700人のボランティアを通して、生活環境の向上、地域コミュニティの形成に貢献した。
 - ・ボランティアの仕事内容は“泥かき”から“心のケア”へ、活動場所は“避難所”から“仮設住宅”へと変化してきた。
 - ・行政および地域との関係構築ができた。
 - ・3教会管区による活動も始動している。
(長崎教会管区-大槌ベース、大阪教会管区-大船渡ベース、東京教会管区-福島市・相馬市など)
 - (2) 体制の見直し
 - ・カリタスジャパン事務局員のSDSCへの派遣(常駐)を2012年3月31日までとする。
 - ・SDSCの活動は今後も引き続きサポートする。
2. 援助審査 7件(東日本大震災3、海外一般4)を審査し、以下の5件を承認、2件を却下した。
 - (1) 勿来カトリック幼稚園「園舎改修・保育料補助など」7,535,237円
 - (2) 福島カトリック幼稚園「園舎改修」159,285円
 - (3) アジア学院「教室棟再建」20,000,000円
 - (4) ウガンダ「持続的農業プログラム」118,453 USドル(3年間)
 - (5) パキスタン「アフガン難民教育・職業訓練支援」41,249 USドル
3. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA) 以下3件の支援を決定した。
 - (1) ケニア「干ばつ・食糧危機緊急支援(EA17/11)」10,000ユーロ
 - (2) エチオピア「干ばつ緊急支援(EA18/11)」10,000ユーロ
 - (3) バングラデシュ「洪水災害緊急支援(EA19/11)」10,000 USドル

次回日程 2011年11月4日(金) 10:00-15:00

正義と平和協議会

■定例会議

日 時 2011年6月6日(月)14:00-7日(火)12:30

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 14人

報 告

1. 新委員の紹介
2. 2012年第37回正義と平和全国集会長崎大会進捗状況について
3. 九条アジア宗教者会議について
10月5日-7日まで、沖縄県那覇市で開催。8日(土)東京で報告集会開催。
4. 基地のない沖縄をめざす宗教者の集い講演会について
11月19日(土)13:00から、興石 正さんの講演を行う。
5. 事務局報告
 - ・リーフレット『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない』配布状況
 - ・正義と平和講演録 Vol.1.5『国是と信教の自由-カトリック 20条の会シンポジウム記録』進捗状況
 - ・ピース9の会懇談会(7月30日福岡県久留米市、8月1日山口県山口市)報告

審 議

1. 全国会議について
日時 2012年2月24日(金)13:00-25日(土)14:00
会議終了後、公開講演会を予定
2. 来年度予算案については、次回継続審議

■事務局会議

日 時 2011年9月20日(火)14:00-16:00

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 5人

審 議

1. 第37回正義と平和全国集会長崎大会準備の打ち合わせを、10月16日のスタディツアー後に行う。
2. リーフレット『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない』英語版の製作について、日本キリスト教協議会と確認する。
3. 来年度活動計画、予算について
4. 全国会議終了後の公開講演会の場所、テーマを検討。

■NCC 平和・核問題委員会

日 時 2011年8月11日(木)14:00-16:30

場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

報 告

1. 各地の脱原発関連催しの報告
2. 軍事基地関連（沖縄、座間、横須賀）の近況報告

審 議

1. JEDRO(日本キリスト教協議会エキュメニカル震災対策室)との話し合いで、平和・核問題委員会から国際会議開催のためメンバーを派遣。
2. カトリックさいたま教区発行のリーフレットについて検討。今後の取り扱いを協議。
3. 第二回脱原発フォーラム開催について
日 時 9月17日(土) 14:00-16:30
場 所 日本基督教団 信濃町教会(東京・新宿区)
テーマ 「事故がなくてもいのちを奪う原発」

■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2011年9月5日(月) 18:00-20:00
場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室(東京・新宿区)
出席者 カトリックから2人

報 告

1. 谷垣自民党総裁、石原都知事に、8月15日の靖国神社参拝への抗議文を靖国神社問題委員会から送付。
2. 「2011 平和の灯を！ヤスクニの闇へ キャンドル行動」、8・15 東京集会の報告
3. 各教派、団体からの報告

審 議

1. 声明文、要請文の文案を検討。
2. 東京都の都有地の宗教施設存在確認について、都庁に質問書を提出するにあたり文案を検討。
3. 学習会「Xデー・即位礼・大嘗祭に向けて」第4回目

■NCC 女性委員会

日 時 2011年9月14日(水) 10:30-13:00
場 所 聖公会センター(東京・新宿区)
出席者 カトリックから1人

報 告

1. 各教派、団体より報告
東日本大震災被災者支援の夏のプログラム、平和関連行事の報告
2. 集会賛同の報告

審 議

東日本大震災被災地へのボランティア派遣、教会訪問について

部落差別人権委員会

■事務局会議

日 時 2011年9月6日(火) 11:00-15:00
会 場 日本カトリック会館 会議室4
出席者 5人
欠席者 2人

報 告

1. 狭山事件の再審を求める市民集会(狭山市民集会)について
2011年7月12日(火)、日本キリスト教会館(東京・新宿区)で「キリスト者前段集会」が15時より行われた。続いて総評会館(東京・千代田区)において狭山市民集会が開催。参加者は約400人。
2. 夏季合宿(新潟・新発田市)について
3. 人権啓発東京講座について
(社)部落解放・人権研究所が「第24回人権啓発東京講座」を日本カトリック会館(マレラホール)で開催する。日程は2011年10月12日(水)、13日(木)、20日(木)、26日(水)、27日(木)。
4. 大阪教会管区部落差別人権活動センターについて
5. カトリック入間宮寺教会(さいたま教区)献堂100周年記念について
6. DVD「絹の道の宣教」について

審 議

1. シンポジウム「福音と差別」について
2. 全国会議について
2011年11月4日(金)-5日(土)開催の全国会議の審議事項を検討。全国会議では、「ハンセン病療養所将来構想」「原子力発電所問題」「シンポジウム・合宿などの啓発活動のあり方」について審議する。
3. 春季合宿について
2012年3月3日(土)-4日(日)に水平社博物館(奈良・御所市)・大和八木教会(京都教区)で開催する春季合宿について審議。
4. 2012年度の計画について
来年度の計画(シンポジウム・夏季合宿・春季合宿・全国会議・ハンセン病市民学会)について審議。審議内容を、次回の定例委員会で提案する。
5. 東京電力福島第一原子力発電所の事故について
太田勝師から資料(「東日本大震災とフクシマのための祈り」「フクシマ放射能差別のはじまりー『五山送り火』事件」)に基づいて説明があり、審議。
6. ホームページについて

■定例委員会

日 時 2011年9月16日(金) 11:00-16:00
会 場 日本カトリック会館 会議室2
出席者 12人
欠席者 2人

報 告

1. 「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」(結成集会)について

2. シンポジウム「～熊本地方判決から10年～ハンセン病問題の現在と未来を問う」について
3. 狭山事件の再審を求める市民集会について
7月12日(火)の狭山市民集会の報告とともに、「狭山事件の再審を求める市民の会」(代表、庭山英雄)が呼びかけている「公正な証拠開示の法制化を求める請願署名」の報告があった。請願署名については次回定例委員会の議題とする。
4. 夏季合宿(新潟・新発田市)について
5. DVD「絹の道の宣教」について
全国会議で上映会を行う。上映時間は11月4日(金)15:00-16:30
6. 大阪教会管区部落差別人権活動センターからの報告

審 議

1. シンポジウム「福音と差別」
今年度開催予定のシンポジウムについて、カトリック長崎教区福音化推進部人権委員会から提案された事項を審議した。審議内容に基づいて太田 勝師と紙崎新一師(長崎教区)が検討の上で結論を出す。
2. 全国会議について
全国会議を2011年11月4日(金)-5日(土)、日本カトリック会館で開催する。今回は、「部落差別問題へのわたしたちの関わり方の原点」をテーマに分かち合いを行う。助言者は福岡ともみさん(NPOなら人権情報センター)。
3. 2012年度の計画について
2012年夏季合宿は広島教区で行う。秋に、シンポジウムを大阪教会管区で開催。11月に、全国会議を宮城県で開催する。2013年春季合宿は福島県で行う。また、2012年5月には青森県で開催予定のハンセン病市民学会に参加予定。
4. 東京電力福島第一原子力発電所の事故について
太田 勝師より「福島差別を許さない緊急アピール」について提案があり、審議。11月に開催する全国会議で扱う。

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

■定例会議

日 時 2011年9月13日(火) 10:00-13:00

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 6人

1. 担当司教に諏訪榮治郎司教を迎え、各自自己紹介を行った。
2. 事務局で見直し、修正を行った「聖職者による未成年者への性虐待に対応するためのガイドライン」(案)について意見交換をした。意見として、神学校での養成プログラムの見直し、対応システムの確立、ホットライン・相談窓口の設置、性虐待を受けた子どもへの聞き取りについての訓練、日本の子どもが置かれている現状や法律についての研修などの必要性が出された。出された意見を参考に事務局で再度修正し、社会司教委員会に提出する。

中央協議会事務局

■総務

11月会議予定

1日(火)	第43回財務委員会	日本カトリック会館
2日(水)	常任司教委員会	〃
2日(水)	社会司教委員会司教秘書合同会議	〃
4日(金)	カリタスジャパン委員会	〃
4日(金)	部落差別人権委員会事務局会議	〃
4日(金) - 5日(土)	部落差別人権委員会全国会議	〃
4日(金)	日本キリスト教連合会第4回常任委員会	ルーテル市ヶ谷センター (東京・新宿区)
7日(月)	社会司教委員会冊子編集会議	日本カトリック会館
14日(月)	典礼委員会定例会議	〃
15日(火) - 16日(水)	カリタスジャパン定例全国教区担当者会議	〃
18日(金)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク	〃
18日(金) - 19日(土)	正義と平和協議会全国会議	〃
21日(月)	「公式祈願」研究小委員会	〃
22日(火)	正義と平和協議会定例会議	〃
28日(月)	難民移住移動者委員会定例委員会	〃
28日(月) - 29日(火)	難民移住移動者委員会全国担当者会議	〃
29日(火)	「同宗連」第2回第2連絡会	〃
30日(水)	教会行政法制委員会定例会議	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2011年11月号 (通巻485号)

発行日 2011年10月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457